

1 1月行事について

学校の三者面談に先がけて受験校の作戦会議を行います。最新情報をご提供いたします。

保護者の皆様、いつもお世話になっております。
人生の三大不幸ってなんだと思いますか？

- ・「話が上手なこと」
- ・「文章が上手なこと」
- ・「愛想がいいこと」

この3つが人生、最大最高の不幸だということです。

話が上手だと、思っていないことまで言えてしまう。
文章が上手だと、自分がやっていないことまで書いてしまう。
愛想がいいと、誰にでも合わせるため、自分の本当の考えを見失ってしまう。
その結果どうなるか？

つまり、「人生に軸がない」これが最大、最高の不幸だということです。

では軸とは、なにか？

「なんのために生きるのか？」ということです。

財産を増やすスキルを学ぶのも大切なことでしょう。

夢を叶えるスキルを学ぶのも大事なことでしょう。

でも、それはなんのためか？この命をなにに使いたいのか？

若い頃、自分の人生の軸を真剣に問い始めました。その頃に出会ったのが、吉田松陰です。日本の未来のために、文字通り命を投げ出し、29歳で首を切られた幕末の教育者です。

「この肉体は一時的なものであり、この心は永遠のものである。

だから、自分の肉体を誰かのために使っている人はいつも輝いている。

反対に、自分の都合にばかり心が振り回されてる人は暗い感じがする。

いつか肉体は消滅する。しかし、まっすぐに生きた心は滅びはしない。

未来永劫、人の心に生き続ける」

「わたし」の日本を想ふとき、人は知

「わたしの日本を想う志、人は知らなかったとしても、この倉夫はわかってくれている。その身体がはみたらちへはかたしねない」

この身体に力みたらちうづはけかもしれない。
それでも、この身体日本の未来をつくる礎を

それでも、この身で日本の未来をつくる礎を担いたいので9」

「お願いします。ほんとうにお願いします。たった1回負けたくらいで、やめないでください」

吉田松陰

アップルのスティーブジョブズを取材中、
インタビュアーのもっていた ipod を見た時、ジョブズは少し不機嫌になったという。

普通、インタビュアーが自分の開発した製品をもっていたら、ご機嫌になるのが普通。
しかし、なぜジョブズは不機嫌になったのか……。

そのインタビュアーは ipod にカバーをしていた。
それが原因だった……。

ipod の初期のタイプは、裏面がステンレスでピカピカでした。ジョブズはこう言ったという。

「傷がつくのを嫌がって、カバーをしている人がいるけど、傷こそが、キミだけのものになった証じゃないか」

歴史上の偉人も、現代の成功者も、一般人とはどこか発想の次元が違う。モノの捉え方や考え方に決してブレがない、ふと一い軸があるのです。

私の命は、子どもたちの教育に、ひとかけらも残さず使い切ろうと思います。
当時、吉田松陰が自分のことより、日本の未来を案じたように、
私は、子どもたちの将来を案じて、今、私にできることをできるだけ、やろうと思います。

軸をもったら、その軸を何事にも負けないくらい強固なものにする。
40過ぎた塾長山田の
人生後半のミッションです。

塾長 山田 大介

●小6 K.H さん

毎週金曜日に算数の補習を頑張っています！これで苦手科目を克服だ！！

●中 1 M.I $< h$

定期テストの点数が大幅にアップ！！補習の時間も多かったが、最後まで頑張った結果だ！！次のテストも頑張ろう！！